

インフルエンザ週報 2015 年 第 2 週 (1 月 5 日 ~ 1 月 11 日)

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令しました。(1 月 15 日)

➤ 岡山県の流行状況

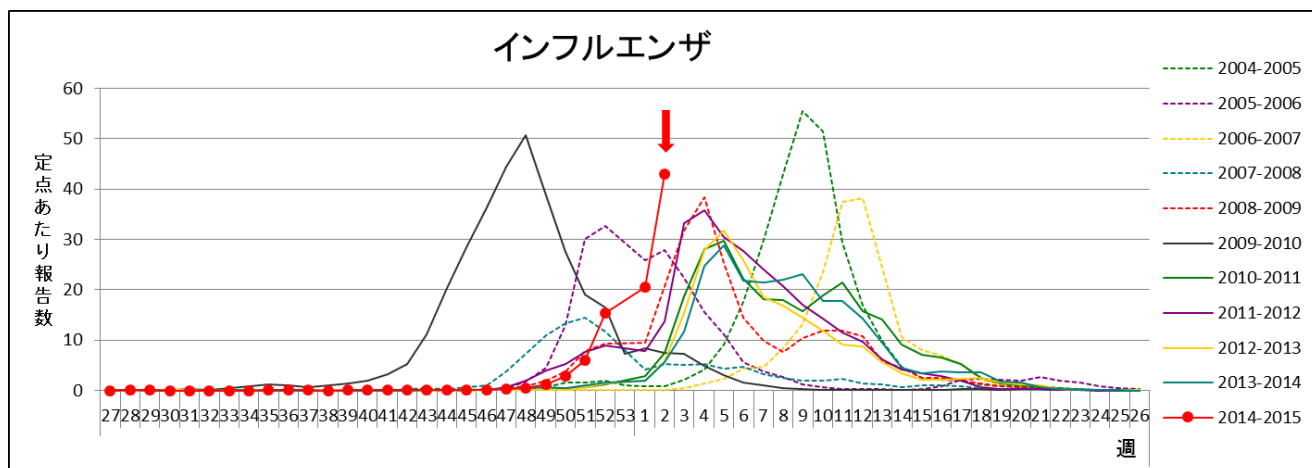
○インフルエンザは、県全体で 3611 名（定点あたり 20.56 → 42.99 人）の発生があり、前週より大きく増加しました。

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は 2 施設でありました。

○インフルエンザによる入院患者 14 名の報告がありました。

【第 3 週 速報】

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 102 施設でありました（1 月 13 日～14 日）。



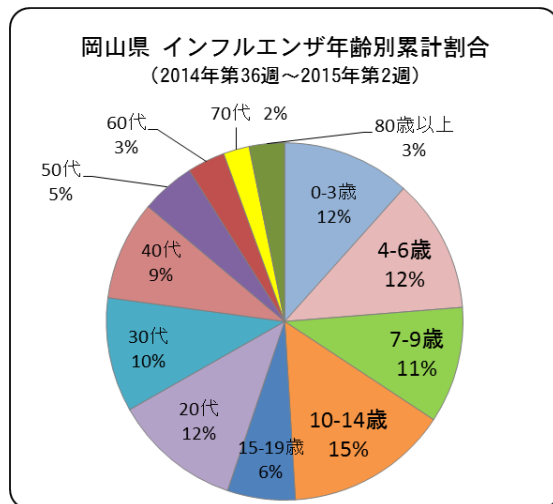
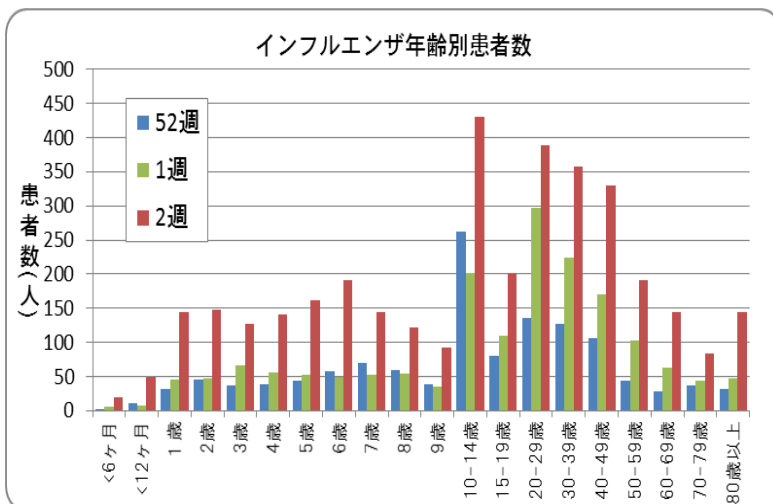
インフルエンザは、県全体で 3611 名（定点あたり 20.56 → 42.99 人）の報告があり、前週より大きく増加しました（84 定点医療機関報告）。県全体の定点あたり報告数が、警報発令基準の 30.00 人を上まわり、今後も流行が継続する可能性があることから、岡山県は『インフルエンザ警報』を発令し（1 月 15 日発令）、一層の注意喚起を図ることとしました。

地域別では、倉敷市（51.31 → 68.81 人）、備中地域（23.50 → 44.92 人）、岡山市（20.00 → 38.64 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、全ての地域で大きく増加しました。発生レベル3 の地域は、倉敷市に加えて、新たに備中地域、岡山市、美作地域（37.80 人）、備前地域（34.47 人）、真庭地域（33.33 人）となりました。備北地域（21.00 人）は、発生レベル2 となっています。

新学期の始まりとともに、第 3 週（1/12～）には、学校等の臨時休業が多数報告されており、今後も患者の増加が懸念されます。『外出後や食事の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

1. 年齢別発生状況

年齢別患者数は、全ての年齢層で大きく増加しています。



2. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	3611	↑	備 中	患者数	539	↑
	定点あたり	42.99			定点あたり	44.92	
岡山市	患者数	850	↑	備 北	患者数	126	↑
	定点あたり	38.64			定点あたり	21.00	
倉敷市	患者数	1101	↑	真 庭	患者数	100	↑
	定点あたり	68.81			定点あたり	33.33	
備 前	患者数	517	↑	美 作	患者数	378	↑
	定点あたり	34.47			定点あたり	37.80	

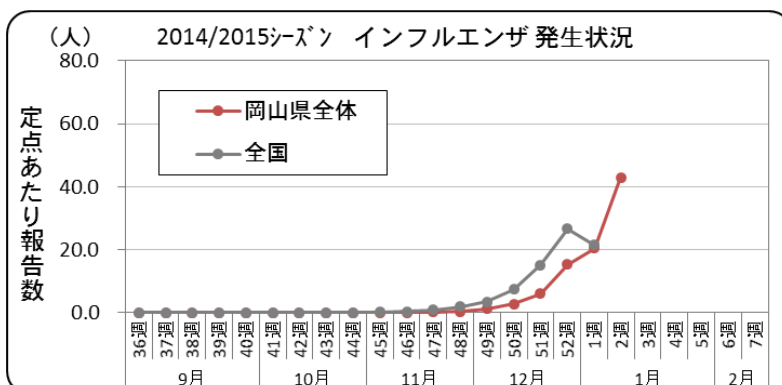
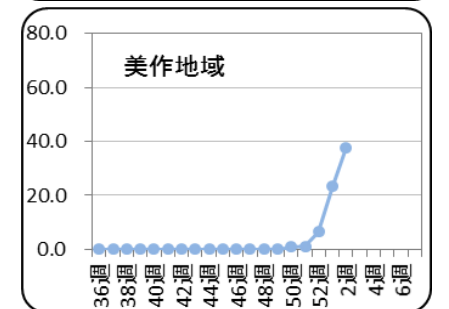
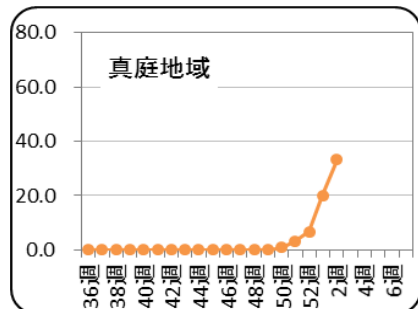
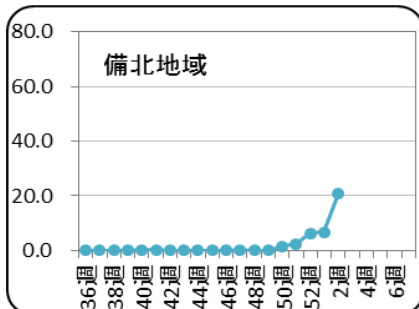
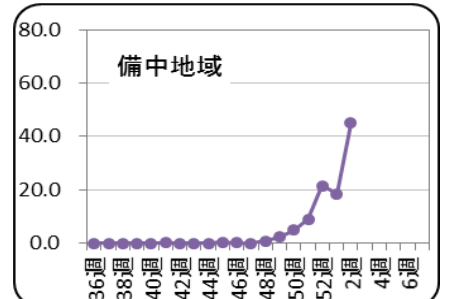
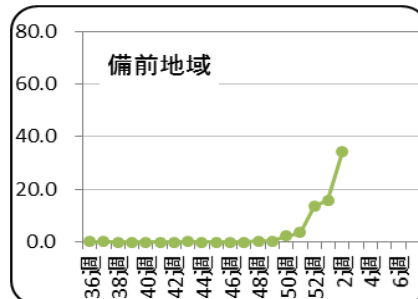
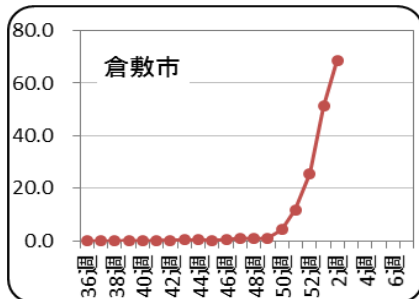
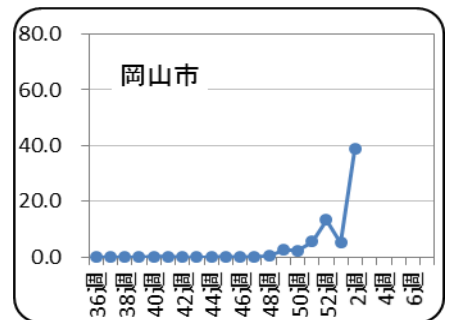
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↓ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加 ↑

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0< 10未満		0



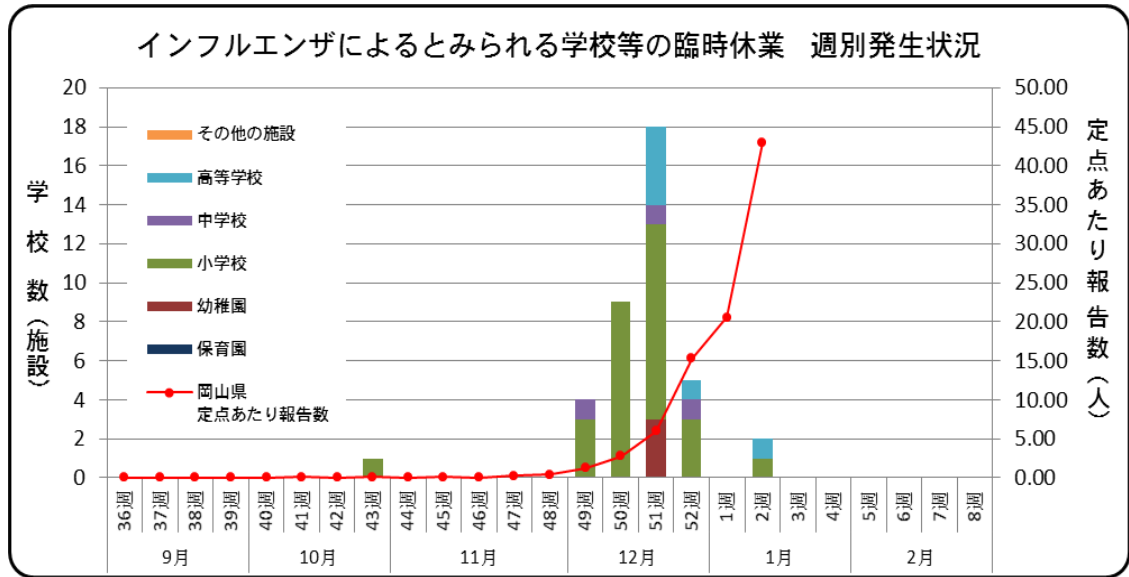
全国集計第1週（12/29～1/4）によると、全国の定点あたり報告数は21.46人であり、第43週以降増加が続いていましたが、約2か月半ぶりに減少しました。都道府県別では、沖縄県（48.74人）、福岡県（44.24人）、滋賀県（44.04人）の順で定点あたり報告数が多くなりました。24県で前週の報告数よりも増加がみられましたが、23都道府県では減少がみられました。

3. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が2施設でありました。

【第2週 臨時休業施設数】

▽岡山市 1 ▽備前市 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	46	696	26	529	2	40	0	1	2	9	0	28	H26.10.21
岡山市	19	204	12	156	1	11	—	—	1	2	0	9	H26.12. 1
倉敷市	0	231	0	182	0	10	0	1	0	2	0	7	H26.10.21
備前地域	27	48	14	34	1	3	—	—	1	2	0	1	H26.12.9
備中地域	0	193	0	145	0	14	—	—	0	3	0	11	H26.12.8
備北地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真庭地域	0	20	0	12	0	2	—	—	0	2	—	—	H26.12.16
美作地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第2週：2施設

累計：40施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	3	1	28	0	3	1	6	—	—

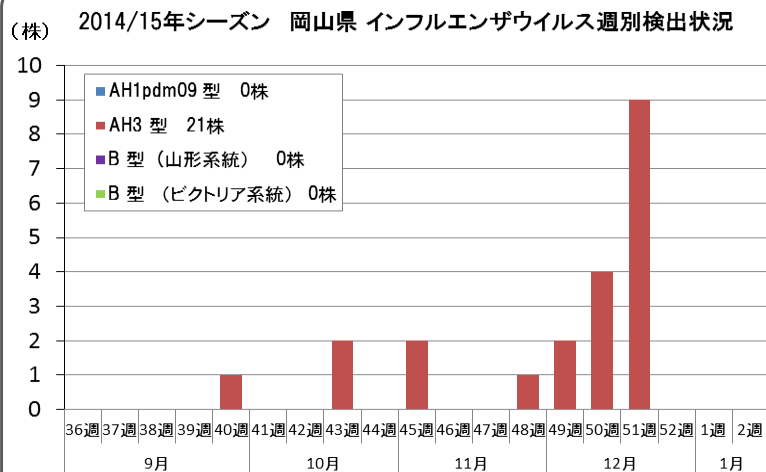
4. インフルエンザウイルス検出状況

第2週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が21株（100%）となっています。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 1150株（96.4%）、B型 27株（2.3%）、AH1pdm09型 12株（1.0%）、A型亜型不明 3株（0.3%）でした。

（2015年1月15日現在）

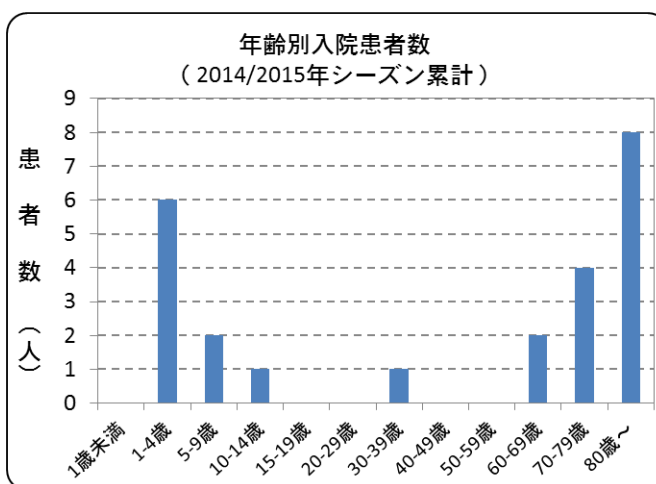
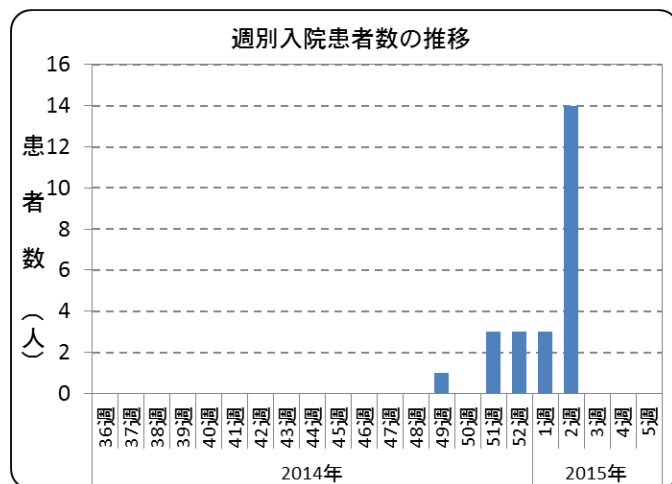
[（インフルエンザウイルス分離・検出速報
（国立感染症研究所））](#)



5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、14名（1～4歳 4名、5～9歳 1名、30～39歳 1名、60～69歳 1名、70～79歳 2名、80歳以上 5名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第2週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		4	1				1			1	2	5	14
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)		1									2		3
頭部MRI検査(予定含)		1									2		3
脳波検査(予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず		3	1				1			1		5	11

* 重複あり

【2014 年 9 月 1 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳 未満	1～4 歳	5～9 歳	10～ 14 歳	15～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70～ 79 歳	80 歳 以上	計 *
入院患者数		6	2	1			1			2	4	8	24
ICU 入室											1		1
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)		1								1	2		4
頭部 MRI 検査(予定含)		1									2		3
脳波検査 (予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず		5	2	1			1			1	1	8	19

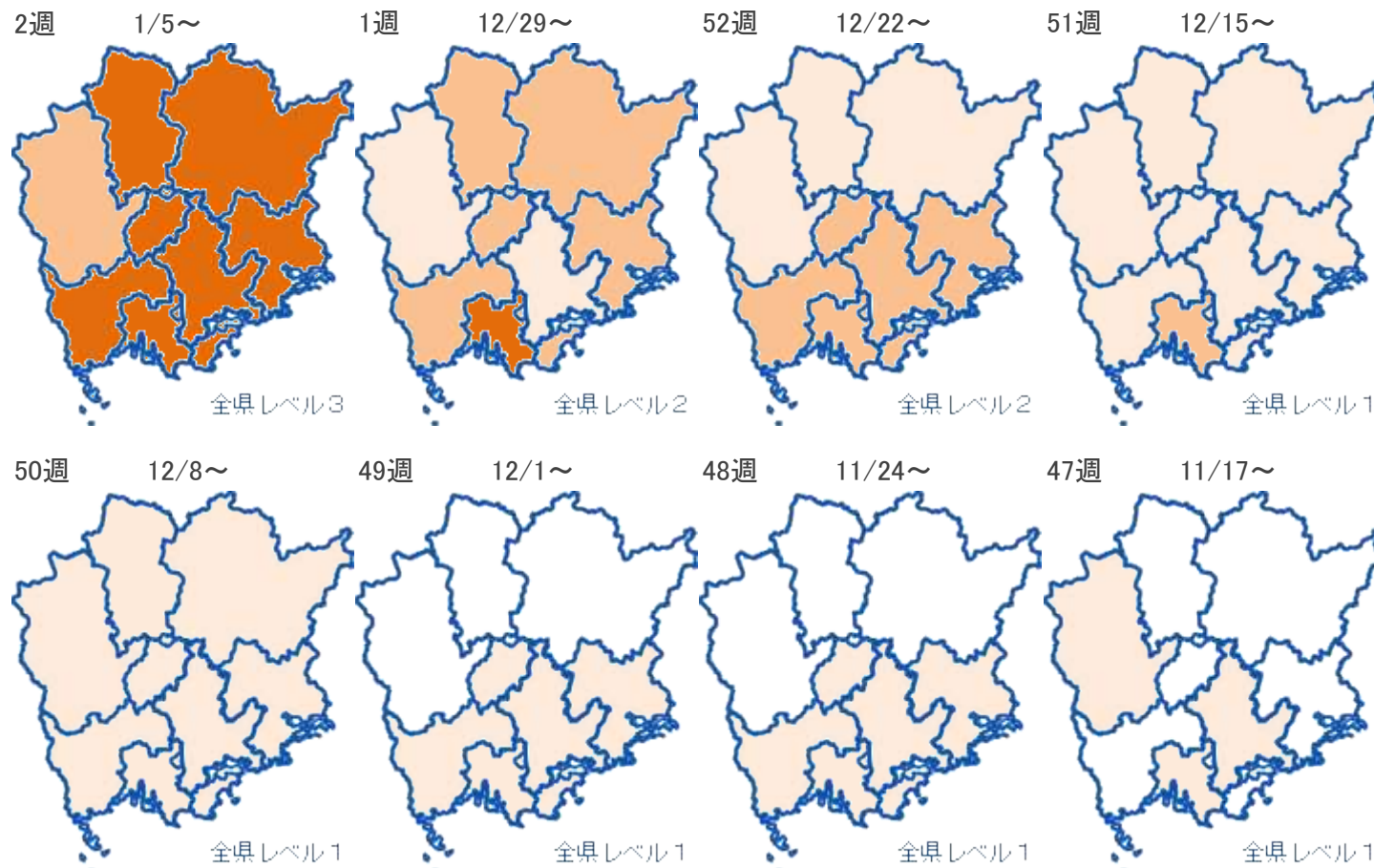
* 重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2015年 2週

2015年1月14日

9:37:13



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。